

## ■年齢別にみた死因順位（平成29年 人口動態統計）

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形，変形及び染色体異常	周産期に特異的な呼吸障害等	不慮の事故	乳幼児突然死症候群	胎児及び新生児の出血性障害等
1～4歳	先天奇形，変形及び染色体異常	不慮の事故	悪性新生物＜腫瘍＞	心疾患	肺炎
5～9歳	悪性新生物＜腫瘍＞	不慮の事故	先天奇形，変形及び染色体異常	心疾患	その他の新生物＜腫瘍＞
10～14歳	自殺	悪性新生物＜腫瘍＞	不慮の事故	先天奇形，変形及び染色体異常	心疾患

## ■不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡順位（平成29年 人口動態統計）

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	その他の不慮の窒息	交通事故	不慮の溺死及び溺水	生物によらない機械的な力への曝露／その他及び詳細不明の要因への不慮の曝露	—
1～4歳	その他の不慮の窒息	交通事故	不慮の溺死及び溺水	転倒・転落・墜落	自然の力への曝露
5～9歳	交通事故	不慮の溺死及び溺水	その他の不慮の窒息	転倒・転落・墜落／煙，火及び火炎への曝露	—
10～14歳	交通事故／慮の溺死及び溺水	—	転倒・転落・墜落	その他の不慮の窒息	煙，火及び火炎への曝露